このアカメヤナギは若葉や茎が大変赤いが葉の形はジャヤナギは類似している。また、大きな托葉も見られない。こういう型は秋吉台方面に度々出てくる。今後の研究を要する。

(8) 秋芳町岩永、泉の湧泉

約4m×約50m。小さい湧泉だが湧出量は非常に多い。ミクリ、カンガレイなどがそれぞれ著しく多い。ホザキノフサモも多い。これは、ここでは緑色をしているがやはり小さい。花穂は全く見られない。センニンモも密生している。コウキクサ、ウキクサなどが多数浮いている。岸ではオグルマが2本開花していた。

(9) 秋芳町秋吉、八重ヶ原の池

国道の側。約80m×約80m。ヒシがほぼ全面。岸にヨシが少し。東側の浅瀬にアシカキが密生している。

(10) 美東町大田、鳶の巣の池

約100m×約100m。広い池である。全面にヒシが密生。周囲にマコモが多数。西側の湿地にサクラタデ(開花中)が多い。ガマ、コガマ、マコモなどが大群落をつくっている。ジャヤナギ、タチヤナギ、アカメヤナギなどが多い。常時給餌されよく馴れたカルガモ(?)32羽、全く野生のバン2羽、ゴイサギ1羽が見られた。

(11) 美東町赤、八幡池(上の池)

約100m×約100m。広い池。ホザキノフサモはよく開花し、大きくてかなり多い。ヒシとオオカナダモは著しく多い。センニンモ、クロモなどもやや多い。周囲にはキヌヤナギ、シダレヤナギ、ジャヤナギなどが栽植されている。岸にはマコモやオギ(開花中)が密生している。

(12) 美東町赤、八幡池(下の池)

約100m×約100m。ヒシとオオカナダモが著しく多い。クロモ、センニンモも多い。水がかなり腐敗している。腐りかけたヒシも多い。岸にマコモとオギが密生している。

(13) 秋芳町青景、樫の森の池(上の池)

約80m×約80m。広い池だがヒシがごく少数見られるだけである。

(14) 秋芳町青景、樫の森の池(下の池)

約60m×約70m。全面にヒシが密生。この地方ではじめて見つかったイヌタヌキモがかなり多い。カラスガイの死んだ貝殻が非常に多数ある。生貝は採れなかった。池の上側の広場にジャヤナギとアカメヤナギが約10本ある。ここのアカメヤナギは若葉、茎とも大変赤いが、葉幅がせまく、葉先がとがり、托葉もない。この地方のアカメヤナギはほとんどこの型である。今後の研究を要する。

3. まとめ

(1) 湧泉の水生植物は非常に少ない。

(2) 湧泉特有の植物はみられないが、強いてあげれば、ミクリ、クレソン、カンガレイなどである。

(3) 他の地方では多くの池で見られるイトモ、イヌタヌキモなどがほとんど見られない。マツモも比較的少ない。

(1991. 10. 17記)

山口県周防部南部の池沼・河川の水草(その3)

南　敦

標記の場所を調査したので報告する。証拠標本は山口県立山口博物館に納入した。

(謝辞) 水草について常々多くの御教示を頂戴している角野康郎先生に深甚の謝意を表す。上関町ならびに周東町の御案内を頂いた内山由子先生と柳井市前池の御案内を頂いた行村良子先生に厚く御礼申し上げる。

凡例:(1)、〔 〕はゼンリン住宅地図(1992)のページを示す。(2)、水草の多少などは全て調査日の観察によるものである。

1. 柳井市

(1) 大迫池〔柳井P.123〕:柳井市苗代地　1991. 9. 8　池の全面にヒシ。マツモも密生。岸辺にガマも多い。ブルーギル、スジエビ、食用ガエル、鯉などいずれも多数いる。1991. 9. 24　ヒシ、マツモが多数腐敗、水面に油。

腐敗臭があり、大きな鯉の死体2つを見た。魚、エビは死んだためか見られなかった。

(2) 渡内池〔柳井P.122 〕：柳井市上富尾、大迫田の池の西上の池　1991. 9. 8　ヒシ、マツモ、ウキクサ類いずれも非常に多い。

(3) 山崎池〔柳井P.104 〕：柳井市新庄、村上造園の植栽地の上の池　1991. 9. 8　ホテイソウやガマがかなりある。ミジンコウキクサが非常に多い。

(4) 積蔵寺下の無名池〔柳井P.121 、地図に記載なし〕：柳井市新庄　1991. 9. 8　ヒシのみ大群生。

(5) 梶ノ池〔柳井P.102 〕：柳井市余田、臥竜梅下方　1991. 9. 8　全面にヒシ、マツモも多い。南側岸にコリヤナギ1本、イヌコリヤナギ群落、アカメヤナギ群落、東側岸にアカメヤナギ群落。飛来する鳥は多い。

(6) 富農勢池〔柳井P.119〕柳井市余田　1991. 9. 8　約100m×約150m。南側水面のみにヒシ、南側岸にマコモ。いずれもかなりある。

(7) 前池〔柳井P.76〕：柳井市柳井　1991. 9. 10　柳井市火葬場の直ぐ南側下、約100m×約100m。ホテイソウ（開花中）が異常に多い。アカウキクサ、マツモ、ヒシ、ヒメガマ、シロバナサクラタデ（開花中）などが多い。ウキクサ、コウキクサもかなり多い。池の北西部のゴミ捨て場にサトイモ、ハヤトウリがよく育っている。

池にはコイが多数いる。池の周囲にアカメヤナギとコウゾが多い。。池の上の田にアカウキクサ、コウキクサが非常に多い。上の田の岸、火葬場の石垣に稀なイヌケホシダがある。

(8) 後池〔柳井P.75〕：柳井市柳井　1991. 9. 10　約80m×約100m。以前、柳井商工の水泳の練習が行われたといわれるが、レンコンが一面に広がり、ヒシも多い。日陰にマツモ、岸にツルヨシが多い。鯉が多い。

(9) 下池〔柳井P.102 〕：柳井市余田、農免道より130m南　1991. 9. 11 ほぼ全面にヒシ、マツモが多い。ミジンコウキクサが非常に多い。南側にショウブ。南東側の岸にアカメヤナギ群落。

(10) 新池〔柳井P.102 〕：柳井市新庄　1991. 9. 11 北側と南側にヒシ大群生。南側に小さいヒシがあるがヒメビシではない。南側にショウブとアカメヤナギがかなり多い。

(11) 鯨池〔柳井P.120 〕：柳井市中村　1991. 9. 11　成育のよいレンコンが全面を被っている。マツモ、ヒシも少しある。池の南側外に大きなトクサ（栽植或いは逸出）がある。

(12) 井戸の池〔柳井P.100 〕：柳井市余田　1991. 9. 11　ほぼ全面にヒシ、中頃にエビモ、センニンモ。南側にアカメヤナギの群落がある。

(13) 宇積のヤナギ林〔柳井P.179 〕：柳井市阿月、宇積から上関方面に向かう途中、県道南側湿地　1991. 9. 12　ジャヤナギ（高さ8m）20本もある。

(14) 新池〔柳井P.102〕：柳井市新庄　1991. 9. 14　ヒシ、クロモ、アカウキクサいずれも多い。ミジンコウキクサは異常に多い。池の南側にコウホネ群落（開花中）。南岸にコリヤナギ群落。ショウブもある。

(15) 大新池〔柳井P.101 〕：柳井市余田　1991. 9. 14　全面にヒシ、他になし。

(16) 西山池〔柳井P.118 〕：柳井市余田　1991. 9. 15　ヒシ、マツモいずれも多数。マツモもある。

(17) 堀川〔柳井P.84〕：柳井市余田、「コイン精米」の辺り　1991. 9. 15　川幅約5m。山口県で一番最初にシロクワイとアサザが見つかったところ。アサザ、マツモ　いずれも大群生。シロクワイいくらかある。岸辺にマコモは多い。サンカクイは見えなくなった

(18) 品木池〔柳井P.56〕：柳井市新庄　1991. 9. 19　ヒシがほぼ全面、マツモ、エビモも多い。西側土堤にトキワススキ群落、北側にヨシ群落。北～北東岸にアカメヤナギ群落。ジャヤナギ1本。コイやオタマジャクシ多数。

(19) 見上田池〔柳井P.56〕：柳井市新庄　1991. 9. 19　ヒシが東側に約半分。南側にトキワススキ群落。フナやコイが多数。この池の南東部の排水口下の水田休耕部分にホソバオモダカが数十本。この品種は見上田池の東上方の水田地帯にもかなりある。山口県初記録。

(20) 迫の池〔柳井P.38〕：柳井市新庄　1991. 9. 19　ヒシほぼ全面、イヌタヌキモが非常に多い。

(21) 品木池北東の無名池〔柳井P.56〕：柳井市新庄　1991. 9. 19　ほとんど全面にヒシ。

(22) 大國大池〔柳井P.56、P.68〕：柳井市新庄　1991. 9. 19　ほぼ半分。北側にアカメヤナギ群落。

(23) 唐尾池〔柳井P.55〕：柳井市新庄　1991. 9. 19　ヒシ半分以上。

(24) 賀茂神社西側の池〔柳井P.170 、地図に池の記載がない〕：柳井市伊保庄、近長　1991. 10. 3　広さ約50m×約50m。西と東の岸にショウブあるのみ。

(25) 賀茂神社西側の池〔柳井P.169 、地図に池の記載がない〕：柳井市伊保庄、近長　1991. 10. 3　広さ約60m×約80m。ラッパソウ（ホテイソウ）が全面に大繁

殖（開花最盛期）。周辺にヒメガマ、ガマが群生。岸にアカメヤナギ多数、コリヤナギ、イヌコリヤナギ、ネコヤナギ、キヌヤナギなどが少数本づつある。

(26)柳井高南側水路〔柳井P.106 〕：柳井市古開作 1991. 10. 8 オオカナダモ、クロモ、イトモなどが密生。エビモ、ヒルムシロ、リュウノヒゲモなど少しづつある。リュウノヒゲモは山口県初記録。

2．平生町

(1) 宮の下の池〔熊毛郡No. 2 P.107 〕：平生町佐賀、宮の下 1991. 9. 12 ヒシが少し、マツモ多数。周辺にアカメヤナギ、ネコヤナギ、カワヤナギ、ジャヤナギなどのヤナギ林。

ジャヤナギとネコヤナギの雑種らしいものが入口にある。

(2) 西池〔熊毛郡No. 2 P.82〕：平生町高須 1991. 9. 16 広さ約70m×約80m。ヒシ半分以上、センニンモ、マツモが多い。北側にヨシ、南岸にトキワススキ群落。コイ、フナ、ウナギがいる。近辺にフタバムグラが多い。

(3) 小和田の池〔熊毛郡No. 2 P.82の北側、地図に記載なし〕：平生町小和田 1991. 9. 16 広さ約20m×約80m、ヒシ少し、センニンモ密生、ホザキノフサモ、クログワイなどがかなり多い。ネコヤナギ1本。マシジミが非常に多数生息。現在の山口県ではごく稀である。

(4) 西分の池〔熊毛郡No. 2 P.75〕：平生町西文 1991. 9. 16 広さ約15m×約15m。ヒシ、マツモが少し、センニンモが多い。ごく稀なタチモが池全体に多い。アカメヤナギ1本。水は澄んでいる。マシジミの死貝多数採集、再調査の必要あり。

池の下方の水田の溝にイトモ、ミズオオバコ、ホッスモなどが多数。下方の小川にクレソン多数。この辺の小川にはカワニナ多数。

(5) 福田の池〔熊毛郡No. 2 P.82〕：平生町小和田、福田登氏の池 1991. 9. 16 広さ約5m×約5mのごく小さい池。ヒシは少数、ミジンコウキクサが非常に多数密生。マツモもある。

(6)岩松の池〔熊毛郡No. 2 P.82〕：平生町沼 1991. 9. 16 秀厳寺の隣り。「秀厳寺の池」ともいう。広さ約70m×約70m。ヒシがほとんど全面に密生。他の水草を見ない。鯉が多い。

(7) 神溜の池〔熊毛郡No. 2 P.81〕：平生町沼 1991. 9. 16 広さ約80m×約80m。ヒシが水面の半分以上。マツモ、クロモ、イヌタヌキモのいずれも多い。

(8) 西原の池〔熊毛郡No. 2 P.81〕：平生町平生村西原 1991. 9. 16 通称「大池」。広さ約60m×約60m。ほとんど全面にヒシ、イヌタヌキモが異常といえるほど多い。よく成長もしている。

(9) 高須の溝〔熊毛郡No. 2 P.82〕：平生町高須 1991. 9. 16 コナギ、ウリカワ、タネツケバナなどが多い。ヒメタニシが多くいる。

3．田布施町

(1) 納所池（ノウソイケ）〔熊毛郡No. 2 P.45〕：田布施町納所、八尋石八幡宮の裏（北東側）、広さ約80m×約100 m、ヒシが水面の半分以上。マツモも多い。鯉が多い。

(2) 西円寺池〔熊毛郡No. 2 P.61〕：田布施町井神、西円寺の側 1991. 9. 23 全面にハス。ヒシは水面の半分以上。アカウキクサ多数。

(3) 長福寺池（仮称）〔熊毛郡No. 2 P.61〕：田布施町井神、長福寺の北西の側。1991. 10. 4 池の西側にスイレン（黄花最盛期）大群落。ヒシ密生。

(4) P.61北部C無名池〔熊毛郡No. 2 P.61〕：田布施町井神、造成中農免道の東下 1991. 10. 4 池の北西側にホテイソウ密生。他はヒシ。上の休耕田にオモダカ（クワイに類似）。

(5) 田布施川関戸橋付近〔熊毛郡No. 2 P.49〕：田布施町本町 1991. 10. 19 関戸橋少し上流にマコモ、橋の直下の堰にオオフサモが多数引っかり青々と生育している。橋下の東側岸にアカメヤナギが1本ある。台風後の新葉の先は大変丸かった。

4．上関町

(1) 蒲井池東側県道の側の無名池〔熊毛郡No. 2 P.141〕：上関町長島蒲井 1991. 9. 21 県道の側で広さ約3m×約5m。ヒシがほぼ全面に密生。

(2) 蒲井池〔熊毛郡No. 2 P.146 〕：上関町蒲井、蒲井八幡宮の北側 1991. 9. 21 広さ約80m×約80m。昨年（1990年）末から今年はじめにかけて改修。ヒシもホザキノフサモも昨年9月に比べると非常に少なくなっている。

(3) 蒲井の水田〔熊毛郡No. 2 P.146 〕：上関町長島、蒲井、上関町農協蒲井支所北側付近の水田 1991. 9. 21 アカウキクサ、オモダカいずれも多数。農家の婦人

が「この草は農薬に枯れないので困る」といっていた。

(4) 四代最西端、車道行き止まり北側の水田と小池〔ゼンリンに記載なし〕：上関町四代 1991. 9. 21 水田にアカウキクサ、ミズオオバコ、クログワイ、ホソバウナギヅカミのいずれも多い。小池にはイヌタヌキモもかなりある。ミズガヤツリは少し。水田に巻貝のマルタニシが多い。マルタニシは県内の他の水田では見ていない。

(5) 蒲井池の東側のヤナギ林〔熊毛郡No.2 P.141〕：上関町長島蒲井 1991. 9. 21 高さ約8mのジャヤナギが群生。以前の湿地は今は草地になっている。林内にツワブキ、ミツバ、スゲsp. などがある。

(6) 祝島三浦の水田〔ゼンリンに記載なし〕：上関町祝島三浦、天然記念物「ケグワ」に登る途中の水田 1991. 8. 5 イチョウウキゴケ群生、石垣にコウラボシがやや多数ある。

5. 光市

(1)「光青年の家」上方の池〔光市 P.139、P.140〕：光市室積、新宮、「光青年の家」東側上方 1991. 9. 23 広さ約30m×約50m。ヒシが水面の半分。ミズオオバコは多く、色々な形のものがある。ごく稀なキクモが密生。

ヤナギスブタもかなりある。タヌキモ類は見えない。以前多かったオタマジャクシや魚は見えない。池の下方に高さ約3mのジャヤナギ多数、ハンゲショウ、ヒメガヤツリ、カワラスガナが若干ある。

(2) 普賢菩薩堂南側溝〔光市 P.163〕：光市宮の浦 1991. 9. 23 シオクグが群生している。

(3) 光市立室積中学校東側の池〔光市 P.148〕：光市室積 1991. 9. 23 広さ約100 m×約80m。ほとんど全域にレンコン．水面はほとんどヒシである。イヌタヌキモ、アカウキクサ、ホソバノウナギツカミなどがいずれも非常に多い。大きく育ったミズオオバコがやや多い。ミズヒキモがわずかにある。北側には高さ約5mのジャヤナギ林。南側にはトキワススキ群落。

(4) 大峯堤〔光市 P.165〕：光市室積 1991. 9. 23 光市天然記念物「森様」の上方の池。

広さ約60m×約70m。水面に水草なし。西側岸辺にガマ、アシカキ、アカウキクサなどが少々ある。

(5) 藪田堤〔光市 P.165〕：光市室積 1991. 9. 23「森様」の側の県道を車で登っていくと上側に大峯堤、更に登っていくと下側に藪田堤が見える。広さ約20m×約30m。ほとんど全面ヒシである。

(6) 光井未岡旭宅東方の無名池〔光市 P.105〕1991. 9. 23 広さ約30m×約30m。水面7割にヒシ。

(7) 大道池〔光市 P.63〕：光市木園、山口県立光丘高校グランド西側。1991. 9. 23 ヒシが全面に密生。ミズユキノシタ少数。イヌタヌキモが非常に多い。スイレン数株（栽植？）。東側に高さ約4mのアカメヤナギの林。北西部にもアカメヤナギの林。その後方に高さ約3mのカワヤナギの林。ホソバウナギヅカミが少しある。水鳥が数羽飼育されている。カモが多数来る。

(8) 光市立室積中学校上方の無名池〔光市 P.148 Cの北側、光市 P.145 記載なし〕：光市千坊台 1991. 9. 23 室積中学校の横の市道を通って千坊台団地に向かう途中、市道西側の無名池。約50m×約80m。全面にヒシがある。

(9) 千坊台団地東側の無名池〔光市 P.145の区域、記載なし、草地記号の辺り〕：光市千坊台 1991. 9. 23 ガマが多い。クワイ、ヌマダイコン（開花中）がかなりある。

(10) 岩屋の無名池〔光市 P.168〕：光市室積岩屋 1991. 9. 23 水草は何も見られない。

6. 周東町

(1) 大池〔ゼンリン地図に記載なし〕：周東町田尻、奥畑 1991. 9. 24 ハス、コウホネ、ジュンサイ、セキショウモ、シログワイ、クログワイ、マコモ、フトヒルムシロ、イヌタヌキモ、ヒメタヌキモ、カンガレイ、ミズギボウシなどいずれも多数。シログワイは柳井市についで二番目の産地である。